

ソフトウェア品質シンポジウム2026

ーソフトウェア品質に関する国内最大級のイベントー

開催要項

日程 2026年9月10日(木)～11日(金) (予定) ※併設チュートリアル(半日集中講座)は本会議の前日に開催(予定)

開催方法 オンライン(予定) ※開催日程、会場、募集内容、募集スケジュール、当日の発表形態などについては都合により変更が生じる場合があります。

ご自分の研究成果や経験を発表してみませんか?

応募期間 2月上旬
～ 4月14日(火)

採否通知 6月下旬(予定)
コメント付

発表期日 9月10日(木) or
9月11日(金)
※発表日時はテーマ等によって
シンポジウム委員会で決定いたします。

1. アブストラクトで応募できます

本シンポジウムは、アブストラクトで応募でき、本文を書く前に採否が決まります。また、アブストラクトの査読結果は、産・学の専門家によるコメントを付けて投稿者に通知いたしますので、その後のフルペーパー執筆の参考になります。もし採用されなかったとしても、今後のステップアップに活用できます。

「発表してみたいけれど、アブストラクトの書き方がわからない」「発表テーマが決められない…」等、投稿が不安な方、悩まれている方必見!
アブストラクトの作成ポイントをWebに公開しています。また、本シンポジウム委員が企画実施してまいりました「投稿応援フォーラム」資料も公開中です。投稿への一助としてお役立てください。

2. スライドのみでも投稿できます

投稿区分として「経験論文」と「経験発表」の2つを用意しています。「経験発表」についてはスライドのみで投稿できます(いずれもアブストラクトの段階で採録のための査読を行います)。

3. 発表者は特別料金でご参加いただけます

発表者は、一般参加費58,080円のところ、特別参加費5,500円にてご参加いただけます。共同執筆者の方は、発表報文1件につき、1名様のみ21,780円です。(価格はいずれも税込)

4. 当日の発表方法が選べます

発表方法は、①リモート ②オンライン配信会場(東京) ③事前録画のいずれかを選べます(質疑応答はいずれも発表当日にご対応いただきます)。

応募方法、詳細スケジュールはWEBサイトでご確認ください。

募集テーマ

必ずしも成功事例である必要はありません。失敗事例から学んだ内容でも大歓迎です。

2024年度より、これまでのシンポジウムで発表した内容をもとに、追加や改善した投稿も募集(※)しております。ぜひご投稿ください。

要求やシステム開発などに 関連した観点	要求工学、要件管理、システム開発と業務改善、ベンダーとの協調、保守・運用、SLA、SLM、ITIL、など
ソフトウェア開発技術の観点	アジャイル開発、派生開発・プロダクトライン、形式手法、モデル検査、設計品質、アーキテクチャ品質、コーディング規約・作法、など
マネジメント技術の観点	オフショア開発、プロジェクトマネジメント、リスク管理、モチベーション・コミュニケーション、パートナーとの進め方、スキル・キャリア、人材育成、教育/トレーニング、小集団活動、など
品質管理・テスト技術の観点	テスト技術、レビュー、デバッグ、プロセス改善、CMMI/ISO15504、監査、QMS構築、構成管理、メトリクス、不具合管理、受入検査、品質の定量的把握(予実管理・EVM)、など

※「本シンポジウムでの既発表の内容をもとに追加・改善」した点を投稿する場合には、既発表との差分(追加、改善した点)を明確にいただき、査読者が既発表との差分を判断できるようにしてください。既発表との差分が小さい場合には、その点を加味して評価します。

募集内容

※日本語の投稿/発表を募集します。

「経験論文」と「経験発表」の2つのカテゴリの投稿を募集します。

「経験論文」、「経験発表」とともに発表時間は30分(発表25分、質疑5分・予定)です。

経験論文	論文を投稿いただきます。
経験発表	パワーポイント等で作成した発表スライドを投稿いただきます。

ソフトウェア品質シンポジウム公式facebookページで最新情報発信中!

シンポジウムの最新情報をご自身のタイムラインに表示するためには

シンポジウムのページで いいね! ボタンを押してください。X(旧 Twitter)でも情報発信中!



お問い合わせ先